

科目分類	看護専門科目 応用看護		開講時期	3年	後期
科目名	在宅看護学実習 I				
選択/必修	必修	単位数 (時間数)	2 単位	90 時間	授業形態 実習
担当教員	家根 明子 ・ 横山 浩誉				
メールアドレス	a-yane@tsuruga-nu.ac.jp(家根) h-yokoyama@tsuruga-nu.ac.jp(横山)		オフィスアワー	随時可能であるが、事前に予定を確認することが望ましい。	

授業目的	療養者の在宅療養のニーズを明らかにし、療養計画を立案する。 このことを通して、在宅療養を支える看護師としてのあり方、アセスメント能力、ケア方法を習得する。
授業概要	訪問看護ステーションで実施されている訪問看護に同行して、療養者と家族の生活の場で提供される看護の実際を学ぶ。併せて、療養者を中心とした家族の価値観や希望を踏まえ、QOL を高める療養計画の展開を通して、在宅看護の特徴と看護職の役割への理解を深める。
授業計画	1 日目 ・在宅療養者との関係づくり、訪問看護に関する演習を行い、実習施設に持参する物品を準備する。 2 日目以降 ・実習施設毎にオリエンテーションを受ける。 ・訪問看護（受持ち療養者・それ以外の療養者）へ同行し、看護師の指導のもと基礎的な看護技術を提供する。 ・多職種の実践やケースカンファレンスなどに積極的に参加し、これらを通して、在宅療養とその支援について理解を深める。 ・在宅における療養者の健康状況、療養者および家族の価値観や希望を理解し、疾病の回復や QOL を高める療養計画を立案する。計画に基づき、ケア（基礎看護技術）の実践・評価・修正を行う。
教材 参考文献等	教科書：河原加代子ほか 系統看護学講座 在宅看護論 医学書院 参考書：押川真喜子ほか 新訂版 写真でわかる訪問看護 アドバンス インターメディカ、ほか適宜参考文献を紹介する。
成績評価 基準・方法	事前課題・実習記録・実習後レポート・実習態度により総合的に評価する。

履修要件	在宅看護学概論、在宅看護学 I を修得していること。
留意事項 その他	実習の詳細については別途実習要項を配布し、説明する。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての在宅看護の経験を活かして、療養者と家族の価値観・希望を踏まえた療養計画に基づいた看護実践の実習指導を行う。